

**2024年度(2025年3月期)  
中間連結会計期間  
(2024年4月～9月)  
決算説明資料**

2024年10月30日  
FDK株式会社

進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために

© 2024 FDK CORPORATION

2024年度中間連結会計期間決算概要について、ご説明いたします。

1. 2024年度中間連結決算の業績	
中間連結決算のポイント	3
2024年度中間連結決算概要	4
営業利益変動要因(前年同期比)	5
中間連結貸借対照表	6
セグメント別情報	7
2. 2024年度(通期)見通し	9
3. 参考資料	10
4. トピックス	13

今回ご説明させていただく内容です。

# 中間連結決算のポイント

FDK

## ■ 連結全体

売上高：326.5億円(前年同期比：+24.1億円、+8.0%)

電子事業のスイッチング電源などで減収も、円安による売上増に加え、電池事業のニッケル水素電池や設備関連ビジネスなどで増収

営業利益：7.8億円(前年同期比：+8.6億円、黒字化)

電池事業で売上増や原材料価格の変動により、黒字化し、さらに円安効果も加わった

経常利益：6.3億円(前年同期比：+4.9億円、+364.2%)

為替の悪化(△3.0億円)や固定資産売却損(△0.4億円)の計上があったものの、上記営業利益の増加により増益

中間純利益：3.5億円(前年同期比：+3.8億円、黒字化)

特別損益の悪化(△2.1億円)があったものの、上記経常利益の増加や税金費用の減少(1.0億円)により黒字化

## ■ セグメント別

電池事業：売上高 前年同期比：+27.0億円、+12.0%

・ニッケル水素電池は国内外の市販・工業・車載用途向け、海外の車載用途向けで増加、BAOTOU FDK CO., LTD.の売上高や円安効果も加わり増収

・設備関連ビジネスは自動車関連設備が堅調で増収

・アルカリ乾電池は国内市販用途向けで増収

電子事業：売上高 前年同期比：△2.9億円、△3.8%

各種モジュールでモビリティ・液晶ディスプレイ用途向けが増収も、スイッチング電源で半導体装置用途向けが減収、トナーが減収

© 2024 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

はじめに、決算のポイントです。

■ 連結全体の売上高は、電子事業のスイッチング電源などで減収も、円安による売上増に加え、電池事業のニッケル水素電池や設備関連ビジネスなどで増収となりました。

連結全体の営業利益は、電池事業で売上増や原材料価格の変動により、黒字化し、さらに円安効果も加わりました。

連結全体の経常利益は、為替の悪化(△3.0億円)や固定資産売却損(△0.4億円)の計上があったものの、上記営業利益の増加により増益となりました。

連結全体の中間純利益は、特別損益の悪化(△2.1億円)があったものの、上記経常利益の増加や税金費用の減少(1.0億円)により黒字化しました。

■ セグメント別では電池事業は、ニッケル水素電池が国内外の市販・工業用途向け、海外の車載用途向けで増加、BAOTOU FDK CO., LTD.の売上高や円安効果も加わり増収、設備関連ビジネスが自動車関連設備で堅調など増収となり、セグメント全体で前年同期比12.0%増となりました。

電子事業は、各種モジュールでモビリティ・液晶ディスプレイ用途向けが増収も、スイッチング電源で半導体装置用途向けが減収、トナーが減収となり、セグメント全体で前年同期比3.8%減となりました。

## 2024年度中間連結決算概要

**FDK**

(単位：億円)

	2023年度 中間期	2024年度 中間期	前年同期比	
				増減率
売上高	302.4	326.5	+24.1	+8.0%
営業利益(△損失) (営業利益率)	△0.7 (△0.3%)	7.8 (2.4%)	+8.6 (+2.7pt)	-%
経常利益 (経常利益率)	1.3 (0.5%)	6.3 (1.9%)	+4.9 (+1.4pt)	+364.2%
中間純利益(△損失)※ (中間純利益率)	△0.3 (△0.1%)	3.5 (1.1%)	+3.8 (+1.2pt)	-%

※親会社株主に帰属する中間純利益

1株当たり中間純利益	△1.03円	10.22円	+11.25円
------------	--------	--------	---------

為替レート (円/1USD)	139.94円	153.93円	+13.99円
(円/1EUR)	152.73円	166.49円	+13.76円

ROIC※	△1.2%	2.1%	+3.3pt
-------	-------	------	--------

※ROIC = 税引後営業利益/(自己資本 + 有利子負債)

© 2024 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

はじめに、連結決算概要です。

■ 円安による売上増に加え、電池事業の売上高は、ニッケル水素電池が国内外の市販・工業用途向け、海外の車載用途向けでの増加やBAOTOU FDK CO., LTD.の売上高も加わったこと、設備関連ビジネスやアルカリ乾電池が増加したことにより、事業全体として増収となりました。電子事業の売上高は、スイッチング電源やトナーが減少したことにより、事業全体として減収となりました。

この結果、売上高は前年同期に比べ24.1億円増加の326.5億円となりました。

■ 営業利益は、電池事業は売上増、原材料価格の変動により、黒字化し、さらに円安効果が加わりました。電子事業は前年同期並みとなりました。この結果、営業利益は前年同期に比べ8.6億円改善の7.8億の黒字となりました。

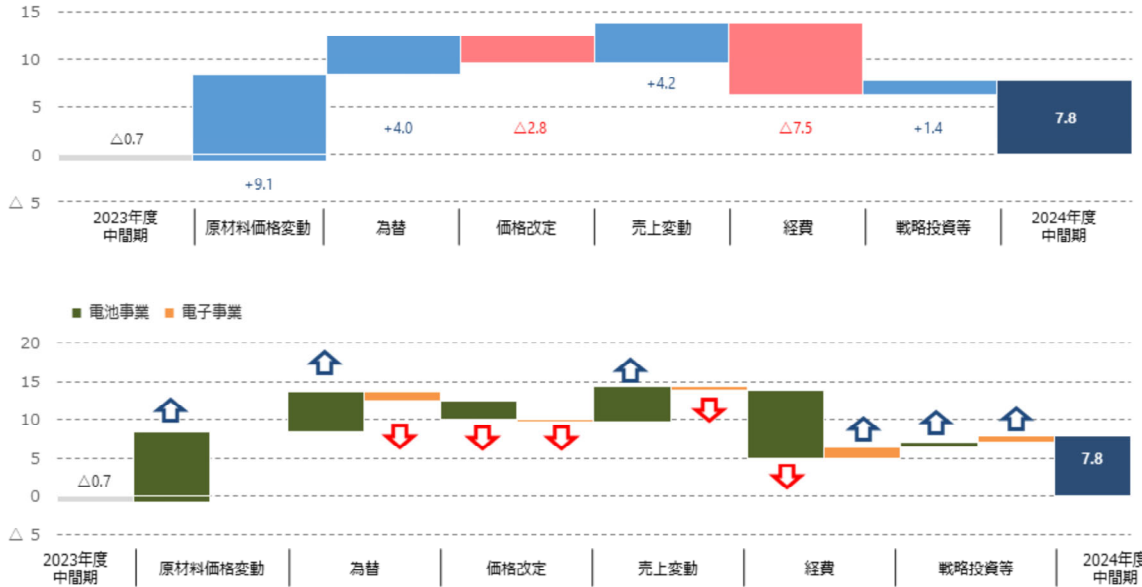
■ 経常利益は、1.0億円の為替差損などを営業外費用として計上したものの、前年同期に比べ4.9億円増加の6.3億円となりました。

■ 中間純利益は、前年同期に比べ3.8億円改善の3.5億円となりました。

■ ROICは、前年同期に比べ3.3pt増の2.1%となりました。

# 営業利益変動要因(前年同期比)

(単位: 億円)	2023年度 中間期	2024年度 中間期	前年同期比	
			増減額	増減率
営業利益(営業利益率)	△0.7(△0.3%)	7.8(2.4%)	+8.6(+2.7pt)	-%



次に、営業利益の変動要因です。

■ 全体の営業利益は、原材料価格の変動による増益に加え、為替の好転影響がありました。

経費による減益がありましたが、電池事業の売上増による増益があり、前年同期に比べ8.6億円改善の7.8億円の黒字となりました。

■ それぞれの要因が各事業に与えた影響としましては、電池事業では経費と価格改定が減益要因で原材料価格の変動、為替や売上増は好転要因となりました。電子事業では経費による好転要因がありましたが、為替が減益要因となりました。

# 中間連結貸借対照表

**FDK**

(単位：億円)

科目	2023年度	2024年度 中間期	増減	科目	2023年度	2024年度 中間期	増減
<b>流動資産</b>	365.9	322.1	△43.8	<b>流動負債</b>	342.1	298.4	△43.7
(受取手形及び売掛金)	(161.4)	(142.6)	△18.8	(支払手形及び買掛金)	(108.7)	(80.2)	△28.5
(電子記録債権)	(17.1)	(6.5)	△10.5	(電子記録債務)	(43.2)	(29.3)	△13.8
(仕掛品)	(34.3)	(29.0)	△5.2	(短期借入金)	(144.7)	(148.1)	+3.3
(原材料及び貯蔵品)	(55.9)	(49.4)	△6.4				
<b>固定資産</b>	149.6	147.9	△1.6	<b>固定負債</b>	16.9	14.2	△2.7
(有形固定資産)	(141.5)	(140.3)	△1.2	(退職給付に係る負債)	(7.1)	(5.1)	△1.9
				<b>負債合計</b>	<b>359.1</b>	<b>312.6</b>	<b>△46.4</b>
				<b>株主資本</b>	128.8	132.4	+3.5
				(利益剰余金)	(△449.9)	(△446.4)	+3.5
				<b>その他の包括利益累計額</b>	26.5	23.9	△2.6
				(為替換算調整勘定)	(27.5)	(23.8)	△3.7
				(退職給付に係る調整累計額)	(△1.6)	(△0.3)	+1.3
				<b>純資産合計</b>	<b>156.4</b>	<b>157.3</b>	<b>+0.9</b>
<b>資産合計</b>	<b>515.5</b>	<b>470.0</b>	<b>△45.5</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>515.5</b>	<b>470.0</b>	<b>△45.5</b>
自己資本比率	30.1%	33.3%	+3.2pt	有利子負債残高	145.5	148.6	+3.1

© 2024 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

次に、連結貸借対照表です。

■ 流動資産は、前年度に比べ43.8億円減少の322.1億円となりました。流動資産減少の主な要因は、早期資金化の実施などにより受取手形及び売掛金や電子記録債権が減少したことに加え、仕掛品や原材料及び貯蔵品などの棚卸資産が減少したことによるものです。

■ 固定資産は、前年度に比べ1.6億円減少の147.9億円となりました。固定資産減少の主な要因は、各種モジュールで一部機種生産終了に伴う固定資産処分などにより有形固定資産が減少したことによるものです。

■ 流動負債は、前年度に比べ43.7億円減少の298.4億円となりました。流動負債減少の主な要因は、短期借入金が増加した一方、下請代金の支払サイトの短縮などにより支払手形及び買掛金や電子記録債務が減少したことによるものです。

■ 固定負債は、前年度に比べ2.7億円減少の14.2億円となりました。固定負債減少の主な要因は、退職給付に係る負債が減少したことによるものです。

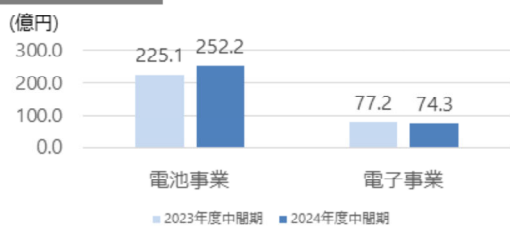
■ 純資産合計は、前年度に比べ0.9億円増加の157.3億円となりました。純資産増加の主な要因は、為替換算調整勘定が3.7億円減少した一方、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が3.5億円、退職給付に係る調整累計額が1.3億円、それぞれ増加したことによるものです。

■ 有利子負債残高は、主に借入金の増加により前年度に比べ3.1億増加の148.6億円となりました。

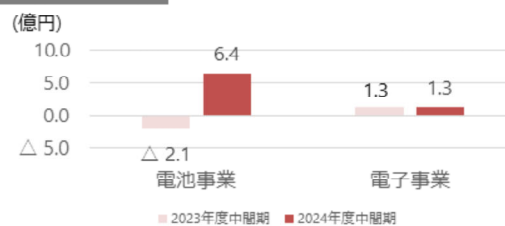
# セグメント別情報



## 売上高



## 営業利益



(単位：億円)

		2023年度 中間期	2024年度 中間期	前年同期比	
					増減率
電池事業	売上高	225.1	252.2	+27.0	+12.0%
	セグメント利益(△損失) (率)	△2.1 (△1.0%)	6.4 (2.6%)	+8.6 (+3.6pt)	-%
電子事業	売上高	77.2	74.3	△2.9	△3.8%
	セグメント利益 (率)	1.3 (1.8%)	1.3 (1.9%)	+0.0 (+0.1pt)	+1.1%
合計	売上高	302.4	326.5	+24.1	+8.0%
	営業利益(△損失) (率)	△0.7 (△0.3%)	7.8 (2.4%)	+8.6 (+2.7pt)	-%

© 2024 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

次に、セグメント別の情報です。

■ 電池事業の売上高は、ニッケル水素電池が国内外の市販・工業用途向け、海外の車載用途向けで増加、BAOTOU FDK CO., LTD.の売上高や円安効果も加わり増加、設備関連ビジネスが自動車関連設備で増加、アルカリ乾電池が増加したことなどにより、前年同期に比べ27.0億円増加の252.2億円、セグメント利益は売上増、原材料価格の変動や円安効果も加わり、黒字化しました。

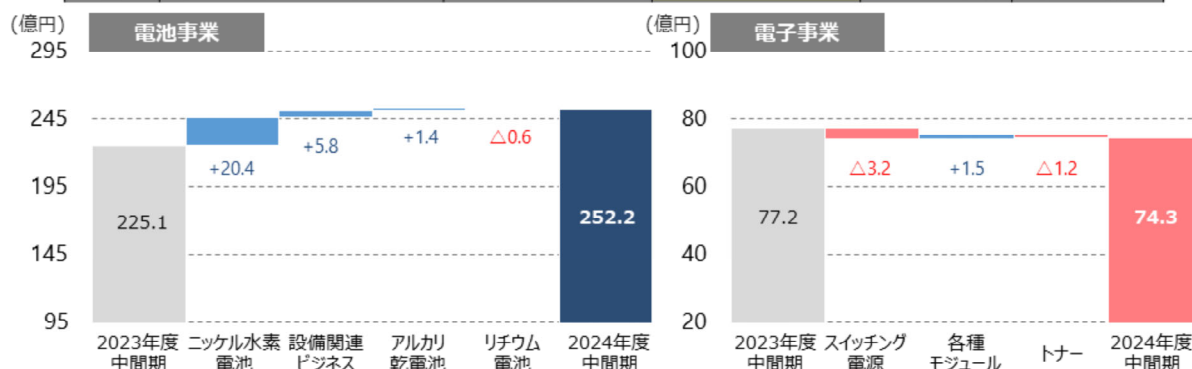
■ 電子事業の売上高は、スイッチング電源やトナーの売上減により、前年同期に比べ2.9億円減少の74.3億円、セグメント利益は前年同期並みとなりました。

# セグメント別情報(売上概況)



(単位：億円)

		2023年度 中間期	2024年度 中間期	前年同期比	
					増減率
電池 事業	売上高	225.1	252.2	+27.0	+12.0%
	セグメント利益(△損失) (率)	△2.1(△1.0%)	6.4(2.6%)	+8.6(+3.6pt)	-%
電子 事業	売上高	77.2	74.3	△2.9	△3.8%
	セグメント利益(率)	1.3(1.8%)	1.3(1.9%)	+0.0(+0.1pt)	+1.1%
合計	売上高	302.4	326.5	+24.1	+8.0%
	営業利益(△損失) (率)	△0.7(△0.3%)	7.8(2.4%)	+8.6(+2.7pt)	-%



© 2024 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

次に、セグメント別の売上概況です。

- ニッケル水素電池は、国内外の市販・工業用途向け、海外の車載用途向けで増加したこと、BAOTOU FDK CO., LTD.の売上高や円安効果も加わったことにより、前年同期を上回りました。
- 設備関連ビジネスは、自動車関連設備が増加したことにより、前年同期を上回りました。
- アルカリ乾電池は、前年同期を上回りました。

続いて、電子事業については、

- スイッチング電源は、半導体装置用途向けが減少したことにより、前年同期を下回りました。
- 各種モジュールは、モビリティ・タブレット用途向けが堅調に推移したことにより、前年同期を上回りました。
- トナーは、前年同期を下回りました。



# 2024年度(通期)見通し

**FDK**

(単位：億円)

	2023年度 (実績)	2024年度		前年度比		年初公表比	
		(年初公表)	(今回予想)		増減率		増減率
売上高	626.7	630.0	630.0	+3.2	+0.5%	0.0	0.0%
営業利益 (営業利益率)	5.6 (0.9%)	10.0 (1.6%)	13.0 (2.1%)	+7.3 (+1.2pt)	+128.6%	+3.0 (+0.5pt)	+30.0%
経常利益 (経常利益率)	7.2 (1.1%)	8.0 (1.3%)	9.5 (1.5%)	+2.2 (+0.4pt)	+31.9%	+1.5 (+0.2pt)	+18.8%
当期純利益※ (当期純利益率)	1.2 (0.2%)	2.0 (0.3%)	3.5 (0.6%)	+2.2 (+0.4pt)	+190.1%	+1.5 (+0.3pt)	+75.0%

※親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり当期純利益	3.50円	5.80円	10.14円	+6.64円	+4.34円
------------	-------	-------	--------	--------	--------

為替レート (円/1USD)	143.82円	140.00円	147.20円	+3.38円	+7.20円
(円/1EUR)	156.24円	150.00円	159.04円	+2.80円	+9.04円

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

© 2024 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

次に、2024年度の見通しです。

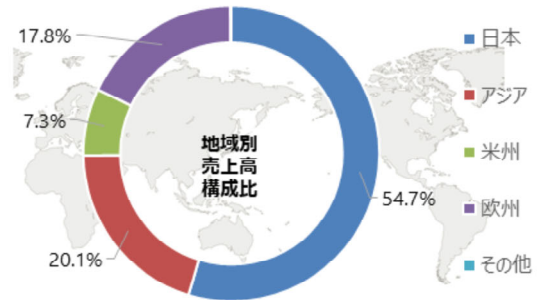
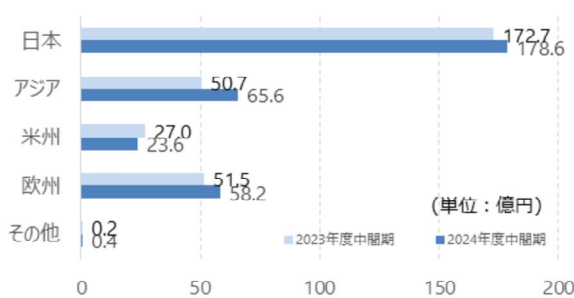
- 売上高は、630億円で3.2億円の増収。
- 営業利益は、13億円、経常利益は9.5億円、純利益は3.5億円の見通しです。
- 期初の想定に対し、営業利益は、期初想定レートより円安基調で推移していることによる好転や原材料価格変動などの原価低減により、増加する見込みです。経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益は、固定資産売却損などの営業外損益の悪化があるものの、営業利益の好転により、増加する見込みです。
- 為替レートは、1USドル、147.20円、1ユーロ、159.04円を想定しております。

参考資料

# 地域別売上高



(単位：億円)	2023年度 中間期		2024年度 中間期		前年同期比	
						増減率
日本	172.7	57.1%	178.6	54.7%	+5.8	+3.4%
アジア	50.7	16.8%	65.6	20.1%	+14.8	+29.2%
米州	27.0	9.0%	23.6	7.3%	△3.3	△12.4%
欧州	51.5	17.1%	58.2	17.8%	+6.6	+12.9%
その他	0.2	0.1%	0.4	0.1%	+0.1	+51.1%
合計	302.4	100%	326.5	100%	+24.1	+8.0%
海外売上高比率	42.9%		45.3%			



※「地域別売上高」は顧客の所在地別売上を示しています

# 中間連結キャッシュ・フロー計算書

**FDK**

(単位：億円)	2023年度 中間期	2024年度 中間期	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3.1	6.7	+9.9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13.8	△12.7	+1.1
フリー・キャッシュ・フロー	△16.9	△5.9	+11.0
財務活動によるキャッシュ・フロー	15.8	3.0	△12.7
現金及び現金同等物の期末残高	26.4	33.0	+6.6

設備投資	9.3	12.8	+3.4
減価償却費	12.0	11.5	△0.4

**1) 車載アクセサリ市場向けニッケル水素電池「HR-AATEX」の量産出荷開始**

近年の車載アクセサリ機器市場の傾向として低温環境下での放電要求が増加。  
当社はこのニーズに応えるため、従来品比「約1.2倍の高容量化」と  
「-40℃の環境下における放電時間約6倍」を実現した  
ニッケル水素電池「HR-AATEX」を開発し、2024年8月から量産出荷を開始

**2) リチウム電池の累計出荷数15億個を達成**

本年8月に、当社鳥取工場(鳥取県岩美郡岩美町)で開発・製造・販売  
しているリチウム電池の累計出荷数15億個を達成。

製品のスマート化による情報通信量の大幅な増加に伴ない、  
電池が搭載される機器や機器への電池搭載本数増加が見込まれ、  
当社は2030年までに累計出荷数20億個を目指します。

また、同工場に太陽光発電システムを新たに設置してCO<sub>2</sub>排出量の削減を進め、  
人や環境に配慮したモノづくりを実現した先進工場を目指します



最後に、トピックスです。

■当社は、従来品比「約1.2倍の高容量化」と「-40℃の環境下における放電時間約6倍」を実現したニッケル水素電池「HR-AATEX」を開発し、2024年8月から量産出荷を開始しました。

■当社は、本年8月に、当社鳥取工場が開発・製造・販売しているリチウム電池の累計出荷数15億個を達成しました。当社は2030年までに累計出荷数20億個を目指します。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、本資料では、業績の概略として多くの数値は億円単位で表示しております。決算短信等で百万円単位で開示しております数値を切り捨て表示しているため、本資料に表示される合計額、差額などが不正確に見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信または四半期報告書を参照していただきますようお願いいたします。

# FDK

確かな技術 育てる未来